

# 協議会の取組に関するまとめ

## 実験の目標

宇都宮東部地域における**道路交通の円滑化**と**公共交通の利用促進**

## 社会実験のメニュー

### CCTVを活用したAI画像解析

- ・ AI画像解析ソフトの**検知率朝は90%以上 夕方は80%以上**（外的要因がない場合）を確認
- ・ 交差点付近での**道路交通の挙動の確認**  
課題：カメラの設置位置や季節等による外的要因が計測結果に影響を与える

### ETC2.0及びプローブデータを用いた旅行速度等の交通状況データ取得

- ・ 平均旅行速度, 平均旅行時間は、**ETC2.0と民間プローブで概ね一致**することを確認

### LED表示板を用いた自動車交通量の平準化

- ・ プローブデータに基づく所要時間のLED表示板による情報提供は、交通量の平準化を促し**旅行速度の向上に寄与**することを確認  
課題：迂回誘導に有効な情報（時間差が大きい）を、有効な運転者（迂回誘導する意思がある）に提供していく必要。迂回を阻害する道路環境に係る不安要因を排除する必要。

### 新たな公共交通を活用した道路交通の円滑化

#### LRT利用状況 ・運行状況

- ・ 通勤・通学やショッピングなどの日常利用のほか、観光などの目的で、**当初予測の1.2倍**の約227万人に利用されている。
- ・ 乗り方の定着やICカードの利用率が向上し、**概ね定刻通りに運行**

#### P&R利用状況

- ・ **自動車から公共交通への転換、都心部への自動車の流入抑制**に寄与していることを確認

## 協議会の設立趣旨

産・学・官が連携して、ICTを活用した渋滞対策に関する社会実験を実施し、宇都宮市東部地域における円滑な交通の確保を図ること

## 社会実験を通しての成果

### 道路の渋滞緩和

新たな基幹交通（LRT）の導入に伴う道路環境の変化により懸念された交通の混乱について、鬼怒通り（県道宇都宮向田線）の、自動車交通量の変化、交通ルールの変更による交差点付近での自動車の挙動の変化、アンケートによる通勤者の意見等を確認する限り、**道路交通の大きな混乱はないことを確認した。**

CCTVを活用したAI画像解析、LED表示板を用いた自動車交通量の平準化などの実験等については、道路環境が変化する中で、**一定の成果が確認できたとともに、今後の活用に向けた課題の整理を行うことができた。**

### 公共交通の利用促進

新たな基幹交通（LRT）が当初の予測値を上回り、**順調に利用されていることを確認し、P&Rの利用も公共交通の利用促進、都心部への自動車流入の抑制に貢献していることを確認した。**

今後も、利用状況を確認するとともに、**必要に応じた利用環境の充実が図られることを確認した。**



引き続き、宇都宮市東部地域における円滑な交通の確保に向け検討を進めていく